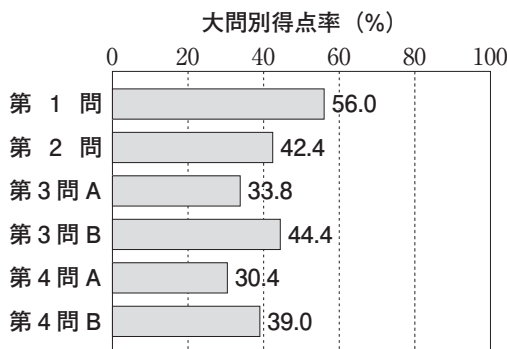
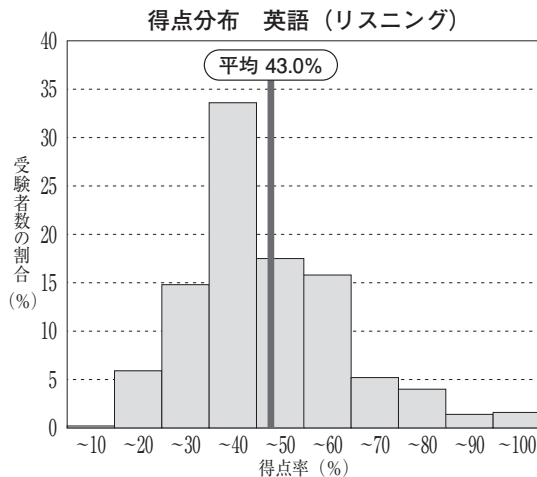


英語(リスニング) [高2生部門]

音読で聞き取り力をつけながら、設問の特徴にも慣れていこう。

I. 全体講評

全国統一高校生テスト[高2生部門]のリスニングの平均点は、21.5点、得点率にして43.0%という結果だった。この模擬試験は、実際のセンター試験にほぼ近い形式・レベルの問題になっているが、学年を考慮して第4問Bの聞き取りのみ、問題文と選択肢が日本語で書かれている。そのため、英文を聞き取る前に問われているポイントをつかみやすいが、やや細かい部分まで聞き取りが要求されている。英語の総合力を上げていくと同時に、試験の形式に慣れることで、キーワードや問われているポイントを拾って聞く要領を身につけ、得点力の向上につなげていこう。



II. 学習アドバイス

今回初めてセンター試験形式の問題を解いた人は、センター試験で出題されるリスニング問題のイメージがつかめただろう。約30分間集中して英語を聞くことの大変さを味わった人もいるかもしれない。リスニングといっても、まずは内容を理解するために必要な語彙力・文法力などの基礎力を固めることが先決なので、あせらず基礎固めを行うこと。また、英語を頭から理解する必要があるリスニングの学習は、知らず知らずのうちに英語力全般の向上にもつながるので、基礎固めを終えた人は積極的にリスニング学習を行おう。以上の点も含め、リスニング学習の方法としては次のことが挙げられる。

- ① 読み上げられた内容を理解するための、語彙力・文法力などの基本を固める。
(スクリプトを「読めば理解できる」ように語彙などを確認する)
- ② 内容を理解したら繰り返し音読する。
ネイティブの音声をまねて、リピーティング(音を聞きスクリプトを見ながら発音する)やシャドーイング(何も見ずに音を聞き発音する)を行う。
- ③ ディクテーション(音を聞き取り書き写す)を行い、自分が聞き取れない音を把握して覚えていく。

まずは①の学習をしっかりと行ったうえで、②の音読を行うこと。よく理解した教科書などの音読を日頃からネイティブの音声をまねてしっかり行えば、英語のリズムをしっかり身につけていくことができる。東進のホームページでは、模試の音声を公開しているので、長めの音声の第4問などの音読をネイティブスピーカーの発音に合わせて行ってほしい。「聞く」という作業は「必要な情報を拾う」ことである。漫然と音声を聞くだけではなかなか力は伸びないので、リスニングを強化する適切な学習方法に従って練習を積もう。